

(様式1)

動物実験計画書(新規・変更)

新規、変更のいずれかを○で囲む

(西曆) 年 月 日

宮崎大学長 殿

動物実験責任者

所属(学部学科等)

職名

申請番号 _____

氏名

内線番号

申請する場合、動物実験責任者のみを変更する場合は、

旧申請番号を記載してください。

旧申請番号

遺伝子改変動物の導入 <input type="checkbox"/> 組換え動物の導入無し <input type="checkbox"/> 新規導入有り(□国内譲渡・□国際譲渡) <input type="checkbox"/> 既に導入済み 改変遺伝子名: 譲渡元:		6. 使用施設(飼育場所、実験場所にわけて記入。宮崎大学長の承認を受けた施設名を記載してください。) 飼養管理施設 実験室																																																																																				
7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類(カテゴリー) <input type="checkbox"/> A:生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。 <input type="checkbox"/> B:脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input type="checkbox"/> C:脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D:脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E:無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。																																																																																						
8. 特殊実験区分 (詳細を 9-(1)欄に、 具体的な安全対策を 9-(2)欄に記載)	1. <input type="checkbox"/> 感染実験 (接種微生物) 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 2. 遺伝子組換え動物□作成実験 <input type="checkbox"/> 接種実験 (区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) 3. <input type="checkbox"/> 放射性同位元素使用実験 <input type="checkbox"/> 放射線使用実験 (飼育場所: 使用核種:) 4. <input type="checkbox"/> 発癌性物質投与実験 <input type="checkbox"/> 重金属投与実験 <input type="checkbox"/> 環境汚染物質投与実験 <input type="checkbox"/> 毒劇物等投与実験 (投与物質名:) 5. <input type="checkbox"/> 細胞等の生体材料移植・接種実験(細胞等の遺伝子組換え <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し)																																																																																					
	9-(1) 動物実験の方法(該当項目にチェックを入れ、その内容を書式に従って具体的に記入してください。)																																																																																					
	□ 【A】薬物等投与 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">薬物名 (必要に応じて 行を追加して下さい)</th> <th colspan="3">薬物のカテゴリー</th> <th colspan="4">投与部位</th> <th colspan="3">投与方法</th> </tr> <tr> <th>発ガン 物質</th> <th>毒劇 物</th> <th>その他 (具体的に)</th> <th>腹 腔</th> <th>血 管</th> <th>皮 下</th> <th>脳 室</th> <th>その他 (具体的に)</th> <th>注 射</th> <th>留置カ ーテル</th> <th>その他 (具体的に)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				薬物名 (必要に応じて 行を追加して下さい)	薬物のカテゴリー			投与部位				投与方法			発ガン 物質	毒劇 物	その他 (具体的に)	腹 腔	血 管	皮 下	脳 室	その他 (具体的に)	注 射	留置カ ーテル	その他 (具体的に)																																																												
	薬物名 (必要に応じて 行を追加して下さい)	薬物のカテゴリー				投与部位				投与方法																																																																												
		発ガン 物質	毒劇 物	その他 (具体的に)	腹 腔	血 管	皮 下	脳 室	その他 (具体的に)	注 射	留置カ ーテル	その他 (具体的に)																																																																										
□ 【B】細胞等生体材料移植・接種 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用生体材料 名称</th> <th colspan="3">移植部位・方法 由来</th> <th colspan="6">細胞株微生物汚染</th> <th colspan="2">細胞株の 遺伝子組換え</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>方法</th> <th></th> <th>□有り</th> <th colspan="3">(汚染生物名 : □無し □不明)</th> <th>□有り</th> <th>□無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				使用生体材料 名称	移植部位・方法 由来			細胞株微生物汚染						細胞株の 遺伝子組換え		部位	方法		□有り	(汚染生物名 : □無し □不明)			□有り	□無し																																																														
使用生体材料 名称	移植部位・方法 由来				細胞株微生物汚染						細胞株の 遺伝子組換え																																																																											
	部位	方法		□有り	(汚染生物名 : □無し □不明)			□有り	□無し																																																																													
※ 移植細胞等に安全管理上または医療倫理上の問題がある場合は 13 欄に内容を記入して下さい。																																																																																						
□ 【C】抗 体 作 成 : 抗原 []、使用アジュバント [] □ 【D】感 染 実 験 : 感染微生物名: [] 微生物の遺伝子組換え <input type="checkbox"/> 有り、 <input type="checkbox"/> 無し レシピエント動物の遺伝子組換え <input type="checkbox"/> 有り、 <input type="checkbox"/> 無し																																																																																						
□ 【E】外 科 的 处 置 : 处置法 [] □ 【F】ス ト レ レス 负 荷 a. 負荷方法 [] b. 負荷期間 [□ 時間 · □ 日間 · □ 月間 · □ 年間]																																																																																						
□ 【G】遺伝子操作実験 : <input type="checkbox"/> 遺伝子操作動物作成実験 <input type="checkbox"/> 遺伝子操作動物接種実験 □ 【H】材 料 採 取 : [] □ 【I】放 射 線 照 射 [] □ 【J】そ の 他 : []																																																																																						

(2) 実験方法を、処置を行う部位・内容・実験手順がわかるように具体的に記入してください。

10. 動物実験が必要な理由

(1) 動物を使用しない他の実験法（代替法）を採用しない理由。

(2) 本実験で使用する動物種を選択した理由。

11. 実験処置後、実験終了まで当該動物が生存する期間(処置ごとに記入してください。)

動物種/系統	処置方法	生存期間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間

12. 動物が被る苦痛と苦痛軽減の方法

(1) 予想される苦痛の種類・程度を、実験操作時とそれ以降の実験期間（動物の生存期間）とに分けて具体的に記入してください。
(必要があれば、それぞれに対する苦痛軽減の方法を記入してください)

a. 実験操作時に予想される苦痛

b. 操作後の生存期間に予想される苦痛

(2) 苦痛軽減の方法

A. 実験操作時、直後の苦痛軽減法

- a. 材料採取等のみの実験計画で、本項に該当しない。
- b. 摂食・歩行状態等の行動から大きな苦痛を感じていないと判断でき、特に処置を講ずる必要がない。
- c. 麻酔薬を投与する。[薬品名] 投与量 投与経路]
- d. 鎮痛薬を投与する。[薬品名] 投与量 投与経路]
- e. 抗生物質等 [薬品名]]を投与し炎症を予防する。
- f. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントに考慮する (C 欄に記入)。
- g. その他 []
- h. 苦痛があるが、その軽減を行わない (C 欄に記入)。

B. 実験操作後、経過等を観察する必要がある場合、その期間中の苦痛軽減法

- a. 実験計画の内容が本項に該当しない。
- b. 摂食・歩行状態等の行動から大きな苦痛を感じていないと判断でき、特に処置を講ずる必要がない。
- c. 鎮痛薬を投与する。[薬品名] 投与量 投与経路]
- d. 抗生物質等 [薬品名]]を投与し炎症を予防する。
- e. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントに考慮する (C 欄に記入)。
- f. その他 []
- g. 苦痛はあるが、その軽減を行わない (C 欄に記入)。

C. 苦痛軽減を行わない場合は、動物が受ける苦痛の大きさと実験の意義を具体的に記した上で、苦痛軽減を行わない理由を、人道的エンドポイントを設定した場合は、その具体的な内容を、それぞれ記載してください。

(3) 安楽死と死体処理の方法

A. 安楽死の方法

- 麻酔薬 [薬品名:] の過剰投与
- 頸椎脱臼]
- その他 [具体的に]
- 安楽死させない。[理由:]

B. 死体の保存と処理

- 生物資源分野で冷凍保存し、同分野に焼却を依託する。
- [] で冷凍保存し、外部業者に処理を依託する。
- その他[]

13. その他 必要または 参考事項	(飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会(組換え等)への申請状況なども適宜記入。)
	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 項目 6 に記入した飼養保管施設は、宮崎大学長の承認を受けた施設である。<input type="checkbox"/> 項目 6 に記入した実験室は、宮崎大学長の承認を受けた施設である。<input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会にて承認済み 承認番号 () 遺伝子組換え実験の承認期間 (年 月 日まで)<input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会申請中 (年 月 に提出済)<input type="checkbox"/> 医の倫理委員会にて承認済み 承認番号 () 医の倫理委員会の承認期間 (研究実施期間) (年 月 日まで)<input type="checkbox"/> 動物臨床研究倫理委員会にて承認済み 承認番号 () 動物臨床研究倫理委員会の承認期間 (動物臨床研究期間) (年 月 日まで)<input type="checkbox"/> その他特記事項 (具体的に記入) ()

承認を受けた実験内容を変更する場合、本書式に経過報告書を添えて変更申請を行って下さい。
また変更前後の記述内容をまとめた書式(様式自由)を添付して下さい。